

12 体操競技【体操競技・新体操・トランポリン】

1 期 日 体操競技 令和5年7月7日（金）から7月9日（日）まで
 新体操 令和5年7月8日（土）から7月9日（日）まで
 トランポリン 令和5年7月7日（金）から7月8日（土）まで

2 会 場 体操競技・トランポリン:岩手県営体育館
 〒020-0133 岩手県盛岡市青山2-4-1 TEL:019-647-1010
 新体操:北上総合体育館
 〒024-0051 岩手県北上市相去町高前檀 27-36 TEL:0197-67-6720

3 競技区分 第50回東北総合体育大会体操競技・新体操・トランポリン競技会
 特別国民体育大会東北ブロック大会

4 競技種別及び参加人員

種 別		監 督	選 手	参加県	合 計	国体出場枠
成年男子	競 技	1	5	6	180	1
成年女子	競 技	1	5	6		1
少年男子	競 技	1	5	6		3
少年女子	競 技	1	5	6		3
	新体操	1	5	6		3
男子	トランポリン	1	1	6	18	2
女子			1	6		2

※予備登録選手について、新体操は、2名、トランポリンは男女各1名を登録することができる。

5 競技上の規程及び方法

(1) (公財)日本体操協会制定競技規則による。

本大会特別規則は、審判会議、監督会議を経て適用する。

(2) 体操競技

競技方法

成年男女及び少年男女ともに1チームの選手は5名とする。(5-5-4方式)

ア) 成年男子 (団体総合競技)

ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を行う。

団体成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

イ) 成年女子 (団体総合競技)

跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。

団体成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

ウ) 少年男子 (団体総合競技)

ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の自由演技を行う。

団体成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、ルールについては、全国高校適用ルールとする。

エ) 少年女子（団体総合競技）

跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目の自由演技を行う。

団体成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、ルールについては、全国高校適用ルールとする。

(3) 新体操

競技方法

ア) 少年女子

a 競技内容

団体競技（当該年の全国高校総体で採用された種目と同一とする）

個人競技（フープ・ボール・クラブ・リボン）

成績順位は、以下の合計得点によって決める。

団体競技の得点及び個人競技の得点（4種目4演技×1/4）の合計。

b 団体競技について

各県ごとに団体を編成し、演技者は5名とする。

c 個人競技について

個人競技の演技者として、団体の5名のうちから4名だけが出場できる。

(4) トランポリン

競技方法（男女共通）

a 競技内容

男女とも成年・少年はそれぞれ共通とし、個人競技で行う。

予選は第1自由演技と第2自由演技を行い、2つの合計得点により予選順位を決定する。

b 第1自由演技について

演技得点（Eスコア）、跳躍時間点（Tスコア）及び移動減点（Hスコア）の3つの合計が第1自由得点とする。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計得点から2.0の減点がなされる。

c 第2自由演技について

10種目を自由に構成し、演技得点（Eスコア）、難度点（Dスコア）、跳躍時間点（Tスコア）及び移動減点（Hスコア）の4つの合計が第2自由得点とする。

d 器具

国際体操連盟公認トランポリン器具とする。

6 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

特別国民体育大会実施要項総則5に定めたもののほか次による。

体操競技の少年種別、新体操、トランポリン競技に参加できる選手には、2008年4月2日から2009年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

また、競技種別などを重複して出場することはできない。

なお、監督は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認体操コーチ3（体操競技・新体操・トランポリン）または、公認体操コーチ4（体操競技・新体操・トランポリン）のいずれかの資格を有する者であること。

※ただし、選手5名がそろわない場合は、東北総合体育大会（体操競技・新体操）の個人にのみエントリーできる。その場合の監督は、公認体操コーチ3（体操競技・新体操）または、公認体操コーチ4（体操競技・新体操）の資格はなくてもよい。

7 総合順位決定方法

各種目の得点合計で順位を決定する。ただし、総合得点が同点の場合、各種目の上位種別の多い県を上位とする。各種目で同点の場合は、その順位を共有し次の順位を欠位とする。

なお得点は、次の順位のを加え当該県で等分する。1種目の参加が6チームに満たない場合は、下位を空けて順位を決定し、得点を与える。

ただし、申込みをしていながら、監督会議（エントリー最終決定）で棄権を申告した場合、その県の順位は無くなり得点は0点となる。この場合の1位の得点は30点とする。

種別・種目	種別の順位及び得点決定方法							
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
体操競技（全種目）	30	25	20	15	10	5	／	／
新体操（少年女子）								
トランポリン（男女）	6	5	4	3	2	1		

8 表 彰

- （1）男女総合成績第1位に大会会長トロフィーを授与する。
- （2）男女総合成績第1位から第3位までにそれぞれ表彰状を授与する。
- （3）各種別及び種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

9 参加申込方法

- （1）第50回東北総合体育大会実施要項総則（以下「総則」という）に定める「8 参加申込み方法」による。

《申込締切》体操競技・新体操・トランポリン共通 令和5年6月8日（木）必着

- （2）参加申込み締切り後の選手交代（変更）は、怪我、病気等の特別な事情の場合に限り、認めるものとし、所定の様式にて下記宛に提出すること。この際、新体操及びトランポリンにおいては、選手と予備登録選手との交代ができることから、申込時に予備登録をすること。（新体操は2名、トランポリンは男女各1名まで登録可能）なお、怪我や病気等の理由による選手交代の場合は、医師の診断書を付すこと。

- ① 提出期限

体操競技	令和5年7月8日（土）監督会議開始前まで
新体操	令和5年7月8日（土）監督会議開始前まで
トランポリン	令和5年7月8日（土）監督会議開始前まで

- ② 提出先

ア）〒020-8570	岩手県盛岡市内丸10-1
	第50回東北総合体育大会岩手県実行委員会 事務局
	TEL:019-629-6497 FAX:019-629-6791
イ）〒020-0062	岩手県盛岡市長田町7-60
	第50回東北総合体育大会体操競技 事務局
	岩手県体操協会 事務局長 五日市 悌

TEL:019-624-4445 FAX:019-651-3454

(3) 出場選手の確定と決定は、監督会議の終了時をもって最終とする。

※ただし、監督会議以後公式練習中、不慮の事故のため試合続行が不可能になった場合は、裁定委員会の審議を要請できる。その事故が試合直前の場合は、審判長の判断により適切な処置をするものとする。裁定委員会は審議の上、早急に結論を出さなければならない。

また、試合中(試合のためにチーム又は個人がアリーナに入場し終わった時)の事故については、適用されない。

10 参加上の注意 総則「13 参加上の注意」による。

11 その他

(1) 開会式 【体操競技・トランポリン共通】

日 程 令和5年7月7日(金) 15:40～16:10

場 所 岩手県営体育館 ステージ前

【新体操】 日 程 令和5年7月8日(土) 12:00～12:30

場 所 北上総合体育館 ステージ前

(2) 審判会議【体操競技】 日 程 令和5年7月8日(土) 9:40～10:20

場 所 岩手県営体育館 審判控室

【新体操】 日 程 令和5年7月8日(土) 10:20～11:10

場 所 北上総合体育館 会議室

【トランポリン】 日 程 令和5年7月8日(土) 9:00～9:30

場 所 岩手県営体育館 審判控室

(3) 監督会議【体操競技】 日 程 令和5年7月8日(土) 11:00～11:40

場 所 岩手県営体育館 ステージ上

【新体操】 日 程 令和5年7月8日(土) 11:20～11:50

場 所 北上総合体育館 会議室

【トランポリン】 日 程 令和5年7月8日(土) 8:30～9:00

場 所 岩手県営体育館 ステージ上

(4) 閉会式・表彰式

【体操競技】 日 程 令和5年7月9日(日) 14:00～14:30

場 所 岩手県営体育館 ステージ前

【新体操】 日 程 令和5年7月9日(日) 13:00～13:30

場 所 北上総合体育館 ステージ前

【トランポリン】 日 程 令和5年7月8日(土) 12:20～12:40

場 所 岩手県営体育館 国旗掲揚スペース

12 新型コロナウイルス感染症対策

政府や日本スポーツ協会及び特別国民体育大会各ブロック大会幹事県で策定された感染予防ガイドライン等を基に、岩手県実行委員会で作成された「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を基本として、感染予防に努めるとともに、中央競技団体が定める「競技別ガイドライン」等を適用する。